

歴史的伝統建造物の保存と伝承

賛助会員 京都・有限会社竹村瓦商会
取締役会長 竹村 優夫

弊社は昭和13年(1938)、大徳寺の管長をされていた後藤瑞巖老師に呼ばれて岐阜の瓦製造元、林藤五郎商店より出張所として京都に来たのが始まりです。

当時の瓦は一般的に焼成温度が低く、寒さに弱い瓦が比較的多かったかと思います。その中で文化財の瓦は凍てに強い瓦(寒さに強い瓦)が要求されていました。

瑞巖老師は瓦についても造詣が深かったと思うのですが、「よく捻った瓦を持って来なさい」と言っていたと何処からともなく聞き覚えています。瓦というのは、「一土、二窯、三仕事」と言われるように、材料となる粘土の性質によって瓦の良し悪しが決まります。

粘土には「男土おつち」と「女土めつち」の区別があり、そ